

学園 教職員・関係ご担当者 各位

梅村学園 省エネルギー委員会

『省エネ・環境活動報告』(第6刊) 発行について

平素より、本学園の省エネ・環境活動に対し、格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

本学園は、「エネルギー管理特定事業者」に認定されており、更に学園の中核を成す中京大学(名古屋、豊田)両キャンパスにおいては「エネルギー管理指定工場」としても登録され、省エネ対策の内容・結果報告の義務が課せられています。

省エネ対策については省エネ法の趣旨に基づき、省エネルギー委員会を軸として法令を遵守した取組みを推進しています。

学園全体としての省エネ目標は、『エネルギー使用量(前年比)1年で1%削減の継続』を現在の環境対策の取組として掲げ、前年度までは、皆様の協力の下でこの目標は達成していますが、引続きソフト、ハード両面から省エネ活動の推進に向けた積極的な取組みを進めたいと考えます。

学園の省エネへの取組み現状について、ご理解への一助として昨年に引続き『省エネ・環境活動報告-’2015-』を作成しました。

ご高覧頂ければ幸いです。

尚、研究室や各校の図書館(図書室)等にも置いて頂き、学生、生徒にもパンフレットをご覧頂ける機会等のご高配を賜れば幸甚に存じます。

(※『省エネ・環境活動報告-’2015-』はホームページでも公開。)

《お問合せ先》

学校法人 梅村学園

中京大学 財務部 環境対策課

TEL 0565-46-1235



省エネ・ 環境活動報告

2015

梅村学園 省エネルギー委員会



梅村学園総長・理事長
梅村 清英

エコキャンパスづくり 加速を

地球環境の保全は我々に課せられた責務です。その柱の一つに温暖化防止、そのための温室効果ガスの排出削減があります。化石燃料の有効利用や電力需給バランスを意識したエネルギー管理が必要です。本学園にも、活動計画の策定、実行、その数値的結果が求められています。

本学園において環境保全・省エネへの組織的取り組みは2008年に始まりました。中京大学省エネルギー推進委員会の発足です。2010年には梅村学園全体、そして中京大学附属中京高等学校、三重高等学校などの松阪地区に同様の委員会が出来ました。

ハード面では、空調をはじめとする各種機器のエネルギー効率のよい設備への更新、照明機器のLED化、太陽光発電の導入などが進みました。ソフト面では、空調、照明機器の

運用の見直し、学生・生徒・教職員への啓発活動、ボランティアによる省エネ活動に取り組んできました

数値的には、エネルギー使用量の削減目標を「2011年度から毎年、対前年度比-1%、5年間で-6%」とし、完成年度の2015年度には目標を上回る成果を上げることができました。2016年度からは、新たな削減目標として「対前年度比1%削減の継続」を掲げ、エコキャンパスづくりの加速化へ、議論を重ねています。

環境活動の取り組みは省エネ活動としての評価だけでなく、学校における生活環境向上にもつながると考えています。安心・安全な教育環境の確保を主軸として、さらなる温暖化対策・省エネ対策を提案して、実行していきます。

基本理念

本学園は、かけがえのない地球環境を守り、自然豊かな環境を次世代に引き継ぐことが現代社会の基本的な責務であると認識します。
本学園で生活する者全てが、諸活動を通して、環境負荷の低減に取り組み、「持続可能な社会」の構築に対し、教育機関としての責務を果たします。

基本方針

1. 法規制・協定の遵守

教育・研究をはじめ、全ての活動において、省エネ法、温対法等の環境関係法令規制、協定を遵守し環境保全に努める。

2. 環境負荷低減

省資源・省エネルギーの推進および、廃棄物の減量と適正管理等に努め、環境負荷低減に取り組む。

3. 自発的な活動の奨励

本学園に生活する者が、それぞれの立場で自発的・積極的に行う環境保全活動を奨励し、継続的、且つ向上的な活動が行えるよう支援する。

梅村学園省エネルギー委員会組織図



注：2016年5月1日公表 人事異動に伴う役職名称で組織表作成
※組織については、委員会規定ならびに関係法令により見直しをおこなう。

梅村学園施設概要

2016年5月1日現在



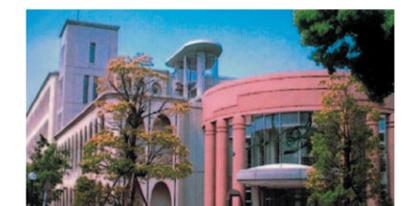
中京大学 名古屋キャンパス

校地面積	70,581㎡
校舎面積	102,472㎡
学生数	9,145人 [3,794人]
教職員数	349人



中京大学 豊田キャンパス

校地面積	426,834㎡
校舎面積	83,571㎡
学生数	3,982人 [1,201人]
教職員数	146人



中京大学附属 中京高校

校地面積	29,603㎡
校舎面積	17,401㎡
生徒数	1,277人 [764人]
教職員数	74人



三重高校 中学校

校地面積	175,142㎡
校舎面積	42,480㎡
生徒数	2,065人 [923人]
教職員数	127人

研修施設

青木湖セミナーハウス、夢科セミナーハウス

土地面積	174,774㎡
建物面積	7505㎡
定員	215人

梅村幼稚園

校地面積	4,196㎡
校舎面積	1,359㎡
園児数	199人 [94人]
教職員数	11人

梅村学園の施設所在地



活動目標と各キャンパスのエネルギー使用量

活動目標

2011年より「エネルギー使用量 年-1%、5年で-6%」の目標を設け、学生・教職員への啓発活動をはじめ、照明・空調機器の運用見直しやエネルギー効率の高い設備機器の更新等、ソフト・ハード両面の取り組みにより省エネが進められ、目標数値は達成しました。

2016年からは新たな省エネルギー活動として「**エネルギー使用量(前年比)1年で1%削減の継続**」を目標に掲げ、学園全体で省エネルギー対策の取り組みを進めていきます。

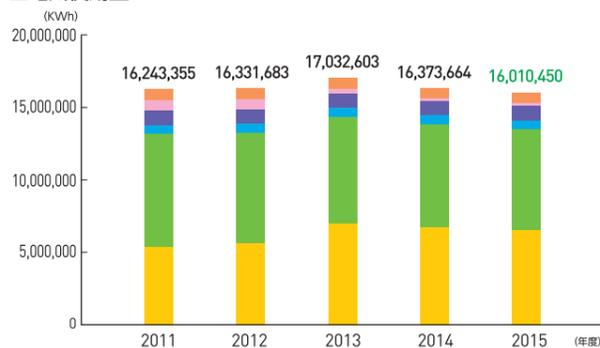


各キャンパスのエネルギー使用量

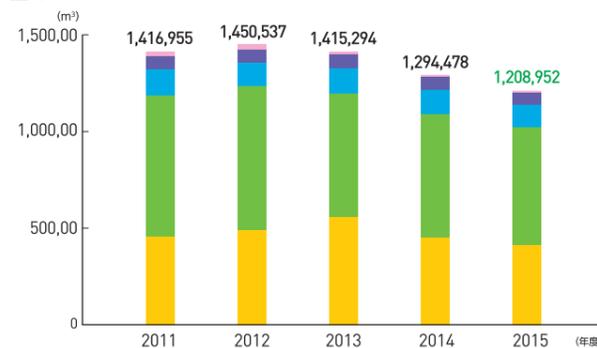
■ 中京大学 名古屋キャンパス
 ■ 中京大学 豊田キャンパス
 ■ 中京大学附属 中京高校
 ■ 三重高校 中学校
 ■ 梅村幼稚園
 ■ 研修施設

2011年～2015年

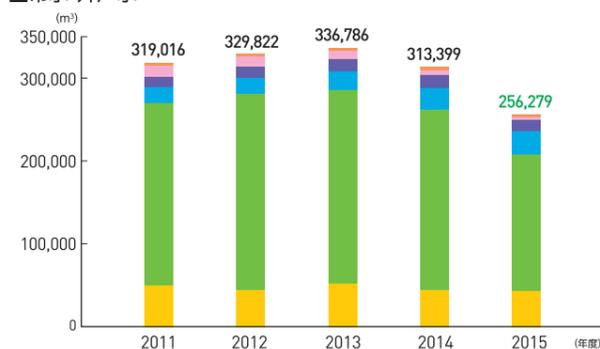
電気使用量



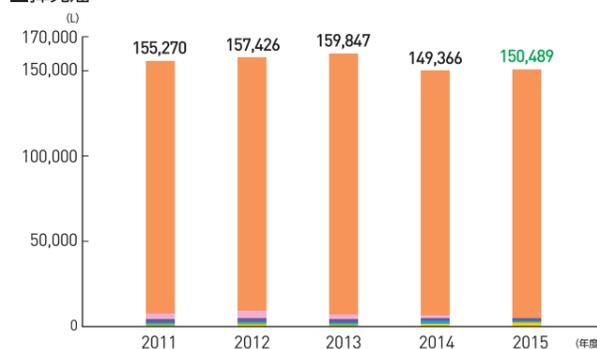
ガス



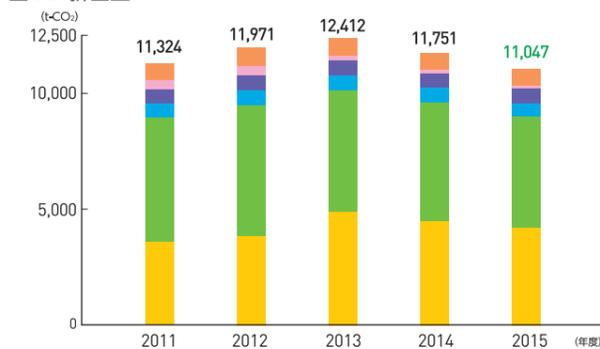
市水・井戸水



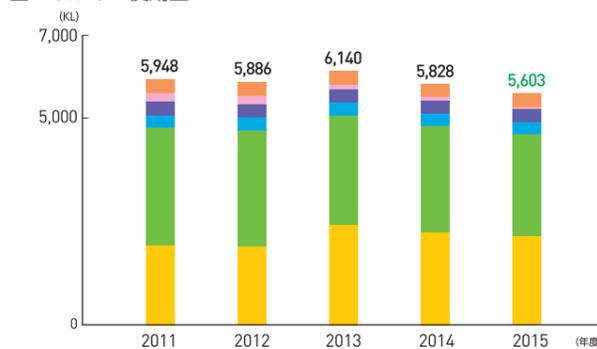
揮発油



CO₂排出量



エネルギー使用量



省エネ・環境活動の取り組み

本学では、以下のような削減目標を策定し、環境に配慮した活動を行っています。2010年度からは、下記の取り組みを目標とし、現状の改善に向けた計画を推進しています。

(中京大学実績)

エネルギー使用量削減

【現状レベル】 A: 目標をほぼ達成している (取組済み・取組中) B: 目標の50%程度を達成したもの C: これからの目標として計画すべきもの D: 現状、予定なし

対象 節電

目標 前年度比 **1%以上**の削減

取組 照明
 消灯の励行、電灯の引き点灯、省エネ電灯・照明器具・高効率投光器の導入(LED照明等)、照明センサー付自動調光照明の導入、タイマー運転・人感センサーの設置、グリーンエネルギー照明の設置

取組 空調
 空調機器の効率稼働のための保守管理、コイル・フィルターの定期清掃、空調機の運転時間の短縮・停止、一括空調から個別空調への切替、カーテン等による空調効率向上

取組 その他 設備・機器
 デマンド制御の導入、太陽光発電設備の導入、エレベーターの運転規制

実績 前年度比 **2.5%減**
 【現状実績】 2014年度 13,861,401kWh 電力、2015年度 13,520,340kWh 電力

評価 A

対象 ガス使用量削減

目標 前年度比 **1%以上**の削減

取組 設備・機器
 各種熱源・搬送設備への切替、高効率ガス給湯機への更新

実績 前年度比 **6.4%減**
 【現状実績】 2014年度 1,092,513m³ 都市ガス、2015年度 1,022,498m³

評価 A

対象 節水

目標 市水+井水利用 **1%以上**の削減

取組 給排水設備
 節水型器具への更新、漏水管理の徹底、地下水利用システムの導入

実績 前年度比 **20.3%減**
 【現状実績】 2014年度 262,371m³ 市水・井水、2015年度 209,034m³

評価 A

対象 緑化

目標 校地面積の関係から、現状緑化維持に努める

取組 緑化
 屋上緑化、壁面緑化、学内緑化の推進(植樹等)

実績 緑化 原則校地の3割確保

評価 B

対象 資材購入

目標 紙購入量の把握と共に紙消費量の削減を図る

取組 紙消費量の削減
 コピー・印刷用紙の削減(両面コピーの励行、電子媒体活用によるペーパーレスの徹底)、リサイクル古紙活用、グリーン購入促進

実績 前年度比 **9.0%減**
 【現状実績】 2014年度 266,393kg ゴミ排出量、2015年度 242,374kg

評価 A

対象 廃棄物削減

目標 排出量の数値把握及び減量化を進める

取組 廃棄物の削減
 ゴミ分別ルールの見直しと分別回収の徹底、リサイクルへの取り組み、分別・リサイクル推進によるゴミ減量(可燃、不燃、紙類、ビン・缶、ペットボトル、発泡スチロール)

実績 前年度比 **9.0%減**
 【現状実績】 2014年度 266,393kg ゴミ排出量、2015年度 242,374kg

評価 A

対象 環境教育啓発活動

目標 自家用通勤(学)者の「エコモビ」への啓発

取組 環境教育の推進
 公共交通機関の利用奨励・徹底、公用車・スクールバスの効率的な運行、アイドリングストップの励行

実績 前年度比 **177.5%増**
 【現状実績】 2014年度 946台 公用車利用、2015年度 2,625台

評価 C

対象 環境コミュニケーションと美化活動

目標 教職員・学生への周知と効果的な推進体制

取組 環境コミュニケーションと美化活動
 室温適性管理の啓発表示・周知(ポスター掲示等)、省エネキャンペーンの実施による意識向上、CO₂削減「ライトダウンキャンペーン」参加、学内禁煙と「分煙」喫煙場の設置箇所削減、入構車両の規制と交通安全キャンペーン

取組 環境美化活動
 「クールビズ・ウォームビズ」の推進、「グリーンキャンペーン」(ゴミ拾い・キャンパス美化活動)、放置自転車の一掃、環境ボランティア(節電/バトロール)

評価 B

対象 環境教育の実施

目標 全学的な実施の展開

取組 環境教育の実施
 ガイドダンス等での「環境」取組説明の実施、エコサークル活動の育成支援

評価 B

対象 「省エネ推進」及びエネルギー管理

取組 エネルギー管理
 エネルギー使用量の把握・周知・管理運転、省エネ実施計画や規程の策定及び指導・啓発、リサイクルの徹底

取組 省エネ推進
 省エネ推進のための委員会設置と諸活動、時間外エネルギー使用の削減、一斉休館中閉館の定着化、学内ホームページで「エネルギー使用量等」の公表と啓発

評価 A

学生・教職員への「啓発活動」

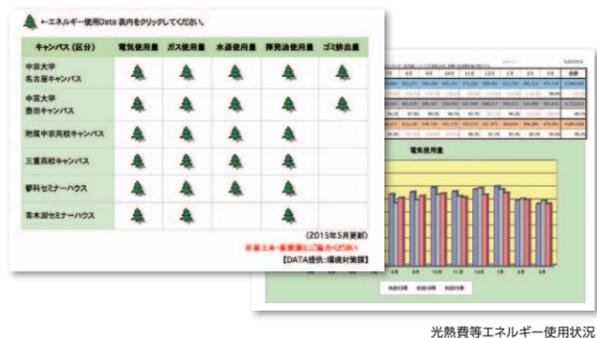
▶『省エネ啓発ポスター』の掲示

「室温の適正化／ムダな照明の消灯活動／節水活動 他」継続的に、このような掲示物を通じて、さまざまな場面・機会を捕らえた啓発活動を行っている。



▶『学園のエネルギー使用量』等ホームページへの公開

ホームページで学園のエネルギー使用状況が確認できる。また、エコ活動の現状など学生・教職員・一般の方が閲覧できるようにしている。



▶『職場の省エネ歳時記』等の月例掲載を通じ、職員啓発のための事務連絡発信

▶オリエンテーションでの『環境・省エネ説明会』の開催

▶『環境ボランティア』による節電パトロール活動

教職員の「対外活動への参加」

▶行政、NPO主導の『省エネキャンペーン』の各種参加や呼びかけ

省エネキャンペーン

- クールビズ** 「夏の省エネ」励行と本学では、空調(冷房)27℃に設定
- ウォームビズ** 「冬の省エネ」励行と本学では、空調(暖房)20℃に設定
- ライトダウンキャンペーン** 環境省主催「夏至」「七夕」の節電や照明消灯活動への参加

▶『環境関連』公開講演会等の開催

〈開催例〉

- 「グローバルな問題としての環境：生物の多様性の現場を歩んで」
講師：香坂 玲氏
(金沢大学大学院人間社会環境研究科 准教授)
- 「炭と環境講演会」
- 「生物多様性・気候変動・グリーン経済」
- 「生物多様性～名古屋市の取組」
- 「愛知の環境のあらまし」
- 「環境国際条約と施策の実態：関係した業務からの実例」
- 「生物多様性・自然環境保全と環境省の(現場での)施策」



▶経済産業省、環境省、文部科学省等の『環境・省エネ関係研究・研修会』への参加 『省エネ普及促進講座』等への参加

▶『愛知県私立大学環境問題懇談会』等への参画 他

一斉休暇期間中の「省エネ促進」(建物の閉館等)

▶夏期・冬期休暇期間中の集中的な建物の閉館、空調・エレベーター停止による『電力等エネルギー削減・節電』の促進

学生のECO活動報告

環境サークルNEOが1年間のエコ活動報告 エコキャップ回収活動、節電キャンペーンなど

3月から7月までのキャップの回収総数は69,824個でした。内訳は学内回収が50,517個で、学外回収分が19,307個でした。学外というのは民宿を営んでいる小原さんという方に協力をお願いし、集めた分をNEOに寄付していただいています。他にも今年から、興正寺の方にもキャップ回収に協力していただくことになりました。こうして集まったキャップはリサイクルされ、その利益が81人分のワクチンとなりました。

2015年9月から12月にかけてのエコキャップの回収数は59,819個、ワクチン数としては87人分となりました。

キャップ回収以外の活動としてNEOでは、節電キャンペーンを行いました。これは水曜3限の時間に0号館や5号館などの使用されていない教室を見て回り、照明や空調を消していくという活動です。5月29日から始まった活動ですが、今までの合計で照明のみついていた教室は40部屋、空調のみついていた教室は87部屋、照明と空調両方ついていた教室は79部屋もありました。水曜の3限という限られた時間だけでもこれだけの電気の無駄遣いがあると分かり驚いたのと同時に、こういった活動を行うことにより少しでも無駄遣いを無くすことができ良かったと感じました。

さらに1月6日～18日にかけて書き損じハガキの回収活動を行いました。今年は全部で64枚集めることができました。



2015「グリーンキャンペーン」に学生180人が参加

豊田キャンパスで毎年実施している清掃活動「グリーンキャンペーン」を11月7日(土)に行いました。体育会・文化会・大学祭実行委員会から約180名の学生が参加し、6つのグループに分かれ貝津町、乙部町といった大学周辺地域のゴミ拾い活動を行いました。約1時間かけてゴミ袋6袋分のゴミを回収し、参加した学生からもゴミの多さに驚きの声があがりました。清掃活動を通じて学生のみなさんの清掃活動に対する理解を深め、近隣の住民のみなさんに対しても本学の積極的な取り組みを理解していただけたと思います。



『学内美化、省エネに協力を』エコウィーク CUVE、文化会員ら100人が呼びかけ運動

本学では、9月21日～26日の1週間を学内美化や節電などを目的としたエコウィークとしています。

(1)階段の利用(2)無人教室の空調や照明の消灯(3)禁煙の推進(4)ゴミの分別などを積極的に呼びかけました。その中で21日～23日の3日間、CUVE、文化会、体育会、大学祭実行委員会の4機関と学生支援室で構成された環境保全委員会(のべ約100人ほどの参加)で朝の8時30分から9時まで、エントランスや駐輪場などの大学各所に分かれ、学生への声掛け運動を行いました。実際に校内でも、トイレの電気を消していく学生や、階段で移動しているときに、「せめてエコウィークくらいは階段を使おう」など口々にする学生が増えたのを見て、嬉しく思いました。エコウィークは1週間だけ環境に気を付ければよいというものではなく、こうしたエコへの気づきから、エコはこうした身近なことから始めることができるものだと思える。エコウィークは1週間だけ環境に気を付ければよいというのではなく、こうしたエコへの気づきから、エコはこうした身近なことから始めることができるものだと思える。エコウィークは1週間だけ環境に気を付ければよいというのではなく、こうしたエコへの気づきから、エコはこうした身近なことから始めることができるものだと思える。



省エネ・環境活動への理解に向けて

「省エネ活動」「環境活動」には、本学園で生活する皆さんの参加が不可欠です。
全ての方の「**ECO ACTION**」への参加をお願いします。

一人ひとりのできることで、実現できます。私たちのエコキャンパス。

イマ・スグ・カンタン

ECO ACTION

今日からできる、私たちの明日につながる取り組み。

照明・エアコンの
スイッチを切りましょう



エアコンは
「夏27℃」「冬20℃」に



できるだけ
階段を利用しましょう



窓や扉は開けたままに
しないようにしましょう



「エコを知っている」から
「エコをしている」に。

簡単にできることから、少しずつ行ってください。

「エコ」をしている人を
応援してください。

様々な活動をする人たちを、応援・支援してください。

ECO ACTION の活動をホームページで紹介しています。

<http://www.umemura.ac.jp/information/a8.html>

QRコードからの
アクセスはこちら ▶



当学園のエネルギー使用状況は大学ホームページで確認できるようになっています。エネルギー使用状況の現状をご覧ください。

【閲覧の仕方】

HOME ▶ 学園概要 ▶ 環境・地球温暖化に関する取り組み ▶ 光熱費等エネルギー使用状況

『省エネ・環境活動報告』
2015年度 ダイジェスト版

編集：梅村学園 省エネルギー委員会 2016年12月制作

問い合わせ先

学校法人 梅村学園 中京大学 財務部 環境対策課



〒470-0393 愛知県豊田市貝津町床立101
TEL 0565-46-1235 FAX 0565-46-1291
<http://www.chukyo-u.ac.jp>